

# ESD ユネスコ世界会議交流セミナー報告書

団体名 国立大学法人 三重大学

## 【ESD ユネスコ世界会議の成果】

三重大学セミナー「ESD in 三重 2014」では、「ESD ユネスコ世界会議」あいち・なごや支援実行委員会パートナーシップ事業として実施した「ESD in 三重 2014」（11月7日～12日）のESDプログラムや成果を報告すると共に、アジア・太平洋持続可能な開発のための教育（ESD）ユース宣言及び分科会で取りまとめた内容について、日本語や英語で公表しました。

また、三重大学の環境戦略における環境人材育成のための持続発展教育（ESD）の推進や平成26年度ユネスコ活動費補助金グローバル人材の育成に向けたESDの推進事業「三重ブランドのユネスコスクールコンソーシアム」の構築状況について発表しました。

これら「ESD in 三重 2014」の成果等について公表することを通じ、三重県の環境に関する過去・現在・未来について参加者と情報を共有し、より良い社会、そして持続可能な社会の実現のために必要なことについて共に考える機会となりました。

そして三重大学の次世代を担う人材育成の事業モデルを他団体に提供することで、ESDやユネスコスクール活動の推進の一助となったものと考えています。



「ESD in 三重 2014」成果報告と今後の展望 朴恵淑三重大学理事・副学長



ユースによる分科会発表



ユースによる『アジア・太平洋持続可能な開発のための教育（ESD）ユース宣言』公表

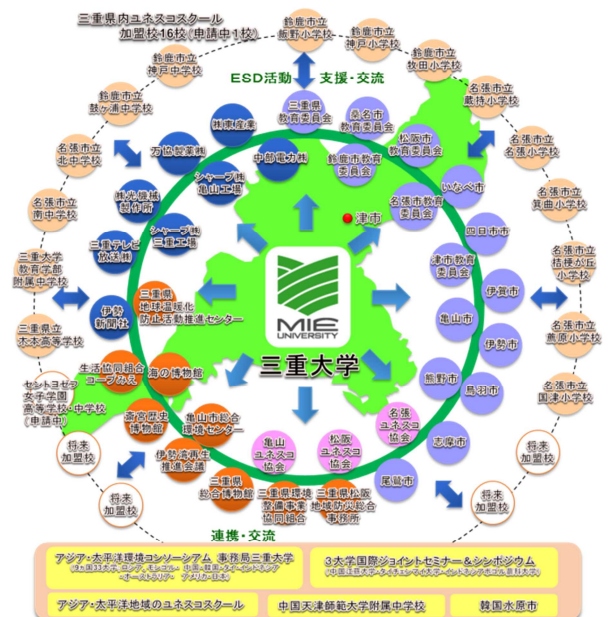
## 【今後の展望】

三重大学は、平成26年度 文部科学省『グローバル人材の育成に向けたESDの推進事業』に採択され、産官学民の連携による「三重ブランドのユネスコスクールコンソーシアム」の拠点となっています。

3年間で、既存の三重県内4市15校のユネスコスクールを拠点としながら、三重県内の14の全市へのユネスコスクールの拡大を図ります。

まず1年目は、三重大学を中心とするネットワークを整備し、「三重ブランドのユネスコスクールコンソーシアム」を設立します。そして2年目以降、その活動を発展させ、コンソーシアムのメンバーを増やしていきます。最終年である3年目以降に、海外、特にアジア・太平洋諸国との連携を図るべく、「三重ブランドのユネスコスクールコンソーシアム」を発展させた国際連携事業を展開し、ESDのさらなる発展・浸透に寄与すると共に、ユネスコスクール活動の輪を広げていきます。

グローバル人材の育成に向けたESDの推進事業(将来イメージ)



概念図（平成29年2月以降）